

平成 20 年度 指定管理者施設管理評価シート

部

保健福祉部

課

障害福祉課

施設名	身体障害者生活ホーム フロム千束	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東つばさ福祉会
-----	------------------	----------	-----------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	障害者福祉施設（身体障害者通所授産施設 1、身体障害者生活ホーム 1、知的障害者グループホーム 7）の運営、就労支援事業の受託運営
②類似施設の管理実績	同上
③経営状況	（平成 19 年度決算） [社会福祉法人会計] 歳入 213,294,894 円 歳出 210,245,844 円 収支差額 3,049,050 円 [授産施設特別会計] 歳入 102,062,919 円 歳出 101,430,669 円 収支差額 632,250 円 [公益事業特別会計] 歳入 21,001,800 円 歳出 21,001,800 円 収支差額 0 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区千束 3-28-13
②設置目的	心身障害者の福祉の増進を図り、地域社会での自立生活を促進するため
③利用者	台東区内に住所を有する心身障害者
④開館日・開館時間	通年・24 時間
⑤規模	千束保健福祉センター内 RC 造 地上 7 階地下 2 階のうち 2 階の一部 延 6,733.87 m <sup>2</sup> のうち 2 階 337.08 m <sup>2</sup> 居室 7,介護人室 2,食堂,浴室,洗濯室,トイレ
⑥人員体制	7 名 【内訳】施設長 1（兼務）、生活支援員 常勤 4 非常勤 2

3. 事業（サービス提供）の概要

①委託事業	①入居事業 福祉ホームを生活の拠点として入居してもらい、一人ひとりの個性にあった地域における自立生活を送るための支援を行っている。 ②自立生活体験事業 在宅の身体障害者に一定期間（1～3 か月間）の入居生活を体験してもらうことによって、自立生活能力の向上を目指している。
②自主事業	自主事業は行っていない

4. 施設の稼働状況等

19 年度利用実績

◆入居事業（定員 5 名）・・・男性 2 名、女性 3 名 年齢 29～43 歳

◆自立生活体験事業（定員 2 名）

性別	男	女	女	女	男	女	女	男	男	女	男
年齢	20 代	30 代	40 代	30 代	20 代	20 代	30 代	20 代	40 代	30 代	30 代
利用期間	4 月	4・8 ・2 月	5・11 月	5・11 ・3 月	6・10 ・1 月	6・3 月	7・11 月	7・2 月	8・12 月	9・10 ・1 月	9・1 月

5. 予算決算の推移

（単位：円）

年 度		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	委 託 料	34,224,000	31,383,000	35,180,000	39,168,000	
	料 金 収 入 等	1,986,000	2,920,000	2,253,000	2,253,000	
	管 理 経 費	36,210,000	34,303,000	37,433,000	41,421,000	
決 算	委 託 料	30,101,120	30,762,270	33,493,162		
	料 金 収 入 等	2,017,351	2,520,975	5,421,429		
	管 理 経 費	32,118,471	33,283,245	38,914,591		
	収 支	0	0	0		

<b>6. 評価項目</b>	3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 -：評価対象外項目
----------------	---

評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.0]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [2] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [-] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [-] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [2]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]

<b>7. 評価</b>	A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
--------------	---

評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	居事業(定住)の稼働率は 97.6%、体験入居の稼働率は 100%となっていて利用率が高い。
②施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は、概ね適切になされている。
③利用者の満足度	A	苦情や要望などに速やかに適切な対応をし、生活し易い環境を提供している。
④歳入歳出	A	現状では妥当であるが、今後は、さらに経費の削減に努め、効率的な運営を目指す。
⑤総合評価	A	指定管理者による施設管理は概ね適切である。

**8. 課題への対応等**

入居希望者の要望に応えるために、施設の改修や事業の拡充に必要な要件を指定管理者とともに調査、検討を行なっていく。